

10・2・14 (日) 南NEWS NO49

得点者：小山君・平山君 (5)

前半：立ち上がりは、足が動かず、相手の攻撃に対するアプローチが少しづつ遅れる場面が見られました。4分、反撃のため前がかりになったウラに出されたボールから失点。その後は、ドリブル突破を武器に、相手ゴールに何度も迫りましたが、ゴールに至らず、前半は、0対1で終了。この試合では、山崎君が、相手をしっかり見て抜くドリブル(お手本になるドリブル)を何度も成功させたのが目立ちました。川窪君も集団の中へ割り込むアプローチなど、積極性が見られ始めました。

後半：前半から全員交替したメンバーですが、3分、小山君がドリブルから相手ディフェンスをしっかりと抜いて、シュート。この日の初ゴールが、南の目指すドリブル突破から生まれました。ここからすっきり南ペースの試合となり、平山君がゴールを量産(5連続ゴール)。結果は6対1で勝利となりました。

また、終了間際には、相手からのカウンター攻撃をゴールキーパーの関矢君がタイミング良い飛び出しで防ぎ、小林君がサイドの長い距離を走るプレーを見せるなど、点差がある中でも集中力を切らさずに戦いました。

この試合では、後半4分に、小笠原君がキープ力あるドリブルで右サイドを駆け上がり、ゴール前に出したボールを左サイドから阿部君が走り込んで強烈なシュート(惜しくもクロスバー直撃でした。)を放った場面や、後半13分に、平山君が左サイドにドリブルで持ち込み、ゴール前からファーサイドに流れるクロスを出したボールに対して、森久保君が全力で追いかけ、ゴールラインを割る直前で追いついて、(利き足でない)右足をしっかりと伸ばしてシュート(惜しくもサイドネットでした。)を撃った場面がありました。3年生のレベルアップが進んでいることを感じる試合でした。

☆ 対：白百合 1対2で負け(前半0対0) 得点者：阿部君

前半：相手チームのパス回しやドリブルで、何度も攻め込まれましたが、早いアプローチを繰り返して、自由に蹴らせないという意識を高くもったプレーをチームとして続けることができました。その結果、相手にゴールを許さず、0対0で前半を終えました。

その中で、鶴田君が相手にしっかりと体を寄せた守備、浜野君がスペースを意識して、相手選手がいない左サイドに向かって速いドリブルを自分で持ち込んだ場面、赤田君が相手にぶつけないで突破するドリブルを意識しながら積極的にボールに絡んだプレーなど、各選手の上達を感じる場面が沢山ありました。また、高橋君のゴールキーパーは、相手選手と味方の守備の位置を良く見て、シュートが来るコースにちゃんと移動し、何度もシュートをキャッチしたうえ、安定した距離のあるパントキックで攻撃の起点となるなど、頼もしい活躍でした。



新しいコーチの皆さんです。

もう既に活動を開始して、試合のレポートも書いてくださっています。5年生・3年生の川窪君兄弟のお父さんである川窪さんが3年生の担当、4年生の中野君のお父さんが4年生の担当コーチとして活動を始めています。同じくBクラスのコーチとして、3年生の赤田君、谷口君のお父さんも活動されています。

岩田コーチのご子息で南OB、1年生の岩田君のお父さんである岩田知紀さん、その同期で矢上の由井三時代の教え子である中村航太君がCクラスのコーチを担当してくれます。嬉しいです。

既に活動を開始されているわけですが、3月7日に行われるコーチ会議で正式に承認され、南の指導者の一員として活躍していただくことになります。子どもたちの仲間としてサッカーを楽しむ、子どもたちの成長を楽しんでいただければと思います。

3年生むさしのJrリーグ 1月11日(月・祝) 由井三小

○チームのめあて

・徹底的にドリブルをする・1対1で負けしない・声を出す

☆ 対：油面 6対1で勝ち(前半0対1)

後半：この試合も、全員が交替して後半に臨みましたが、前半に続き、集中力のある好ゲームができました。10分間は、両チームとも譲らず、0対0が続きました。谷口君は、うまく体を入れて相手のボールを奪い、相手を引き離すスピードのある動きで、何度もチャンスのきっかけを作りました。小笠原君や阿部君が相手のパスを奪う(インターセプトする)ことにチャレンジし、松宮君が3回、4回とあきらめずにアプローチを繰り返すプレーをして相手陣地に深く攻め込むなど、南らしい好プレーも目立ちました。

後半11分、阿部君がセンターサークル付近からタイミング良い飛び出しで相手のパスをカットし、少しドリブルした地点で、相手ゴールキーパーが出ているのを見て、判断良くロングシュート。見事なゴールで1点先制です。

続く12分、守備のアプローチが甘くなり、ドリブル力のある相手選手にドリブル突破からのシュートを決められて同点。さらに、終了間際に、ゴール前に落ちたボールを蹴り込まれて失点。結果、1対2で、敗戦となりました。最後の3分の集中力や運動量(最後まで走る力)に課題が残りましたが、前半・後半を通じて、各選手の良さが出たナイスゲームでした。

☆ 対：青梅 1対4で負け(前半1対1) 得点者：平山君

この試合では、3年生としては初めて、ポジションを決めて戦いました。

前半：試合開始からしばらく、相手ゴールに迫りませんが、得点を取れず、逆に、4分に、カウンターから失点し、先制されました。それでも、積極的なアプローチやボールをキープできるドリブルという意識を持ちながら、チャンスを作り、13分、平山君がドリブルで相手の守備選手を次々に抜いてシュート。1対1に追いついて、前半を終えました。

この試合でも、森久保君のキープするドリブルや小山君のまたぎながら運ぶドリブル、小林君の前線から素早く戻って相手に体を寄せるフォワードらしい守備、谷口君の相手選手の動きを読んだパスカットなど、一歩進んだプレーも見られました。

後半：前半とは別のメンバーでポジションを決めて戦いました。相手チームの左右の幅を使った攻撃に苦しみ、守備に苦勞する場面が多い展開となりました。2分には、カウンター気味のサイドチェンジから左サイドに切り込まれて失点。その後も9分、10分に鋭いシュートを決められ、後半は3失点。結果として、1対4で負けとなりました。

守る時間が多い展開でしたが、11分あたりまでは、南らしい良い動きが多く見られました。特に、鶴田君、松山君、山崎君が、ボールを持つ相手選手に、次々にアプローチを繰り返した連携プレーは見事でした。また、松山君が手を張りながら足の裏を使ってV字で突破したドリブル、ジョシュワ君がボールを左右に動かしながら相手の間を抜け出したドリブル、赤田君の柔らかいボールタッチでのドリブルコントロールなど、好プレーがありました。守備でも、9分の失点の際には、関矢君が最後まで相手選手に体を寄せて粘り、打たれた強いシュートにゴールキーパーの川窪君が手を伸ばしてはじくなど、結局はゴールされてしまいましたが、ガンパっているプレーが見られました。

ただ、最後の4分間は、全体的に足が止まり、アプローチも甘くなり、相手に振り切られたり、自由にパスをさせたりしてしまう場面が多くなってしまったのは、残念でした。

今日の試合では、各選手の進歩が感じられました。これからが楽しみです。新年になりましたので、決意も新たに、カンバリましょう！

今日の試合を通じて、課題も沢山見えてきました。

①相手にぶつけてしまうケースがまだ多い。②ボール(足元)を見てしまい、顔(目線)が上がっていない(上げている選手も、目線を上げるのが遅い)。③ファーストタッチ(最初のタッチ)で自分の置きたいポイントにコントロールできていない。④2回目以降もタッチが硬く、自分からボールが離れてしまって、簡単にカットされる(体を入れられてしまう)。⑤足の裏が全く使えていない。⑥ボールを動かす方向を横や斜め後ろに変えたり、体の向きを変えたりしようとする意識が足りない。⑦前にいる相手選手だけでなく、横や斜め後ろからアプローチしてくる相手選手に対応できない。⑧ターンが使えない。など、まだまだ練習して身につけなければいけないことがいっぱいあります。

日頃から、「何を身につける練習なのか？」を考えて、真剣に練習しましょう！

by 川窪コーチ

(昨年12月からBクラスのコーチをさせていただいています。よろしくお願ひします。)